

一拜みをする事、身のをこなひ也、只こゝろを直にやはらかに持、正直憲法にして、上たるをば敬ひ、下たるをばあはれみ、あるをばあるとし、なきをばなきとし、ありのまゝなる心持、佛意冥慮にもかなふと見えたり、たとひいのらずとも、此心持あらば、神明の加護有之べし、いのるとも心まがらば、天道にはなされ申さんとつゝ、しむべし、

一刀衣裳、人のごとく結構に有べしと思ふべからず、見ぐるしくなくばと心得て、なき物をかりもとめ、無力かさなりなば、他人のあざけり成べし、○中略

一上下萬民に對し、一言半句にても虚言を申べからず、かりそめにも有のまゝ、たるべし、そらごと言つくれば、くせになりてせゝらるゝ也、人に頓てみかぎらるべし、人に糺され申ては、一期の恥と心得べきなり、○中略

一よき友をもとめべきは、手習學文の友也、惡友をのぞくべきは、碁將碁笛、尺八の友也、是はしらすとも恥にはならず、習てもあしき事にはならず、但いたづらに光陰を送らむよりはと也、人の善惡みな友によるといふこと也、三人行時、かならずわが師あり、其善者を撰で、是にしたがふ、其よからざる者をば、是をあらたむべし、○中略

一文武弓馬の道は常なり、記すに及ばず、文を左にし、武を右にするは、古の法兼て備へずんば有べからず、

〔信玄家法下〕一奉對屋形様、盡未來不可有逆意事、論語曰、造次必於是、顛沛必於是、又曰事君能致其身、

一於戰場聊不可爲未練事、吳子曰、必生則死、必死則生、

一無油斷行儀、可嗜事、史記曰、其身正則不令行、其身不正則雖令不從、

一武勇專可嗜事、三略曰、強將下無弱兵、